類題

中学校国語　力だめし２（話す・聞く・書く）

（　）年（　）組　名前（　　）

一．「テレビについて」というテーマで書いた二人の意見文です。

山村さんの意見文

現代社会において、テレビは最も身近な情報機器の一つである。居ながらにして世界中の情報や映画やドラマなどの娯楽を簡単に手に入れることができる。しかし、私たちは、テレビによって、本当の情報を得ていると言えるのだろうか。むしろ、断片的で不十分な情報によって、誤解が生まれることさえあるのではないだろうか。

先日、こんなことがあった。ちょうど私の町でお祭りがあった時、テレビではマナーの悪い人たちの騒ぎの映像だけが取り上げられていた。しかし、私の町のお祭りは地域の人がみんなで協力して伝統を守っているすばらしいものでもある。しかしそのことがニュースで流れることはなかった。テレビの情報をそのまま受け止める人には、お祭りが大変困った良くないものとして理解されたであろう。

テレビは確かに便利な情報機器である。しかし、その情報が正しいものかどうか、常に考え、判断することが欠かせないのである。

大島さんの意見文

テレビのある時代に生まれて本当に良かったと思います。テレビは素晴らしい情報機器です。その理由は二つあります。

一つ目は、テレビは子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで、簡単に情報を得ることができることです。スイッチ一つで操作できるので、コンピュータの操作が苦手な人や、たとえば家で安静にしていなければいけない病気の人でも、簡単に様々な情報を得ることができます。

二つ目は、居ながらにして多くの様々な情報を得ることができることです。私は美しい自然の風景を見るのが大好きですが、テレビがあれば日本だけでなく外国の美しい風景もたくさん見ることができます。また、ニュース番組では政治や経済など世界で起こっていることについて、難しいことでもわかりやすく解説してくれます。

テレビはくだらない番組が多いのであまり見てはいけないという意見もありますが、番組をちゃんと選べば問題ないと思います。テレビは生活を豊かにする素晴らしいものだと思います。

（１）あなたは、山村さんと大島さんの意見文を読んで、どちらの意見に賛成しますか。一人、あるいは二人の意見文の内容に触れながら、あなたの考えを説明しなさい。

（２）二人の意見文がどのような書き方で書かれているか考えます。どちらに賛成するかは別にして、あなたが、良い書き方だと思う意見文について、どのようなところが良いか、その人の書き方に触れながらあなたの考えを説明しなさい。

二．環境委員の中村さんは、全校集会で、地球温暖化防止の取組みを呼びかけることになりました。次のようなスピーチカードを書きました。

スピーチカード

ア　**地球温暖化とは？**
- 大気中に含まれる温室効果ガスが太陽の熱を吸収し逃さないので、増えすぎると地上に熱がたまり、地球を暖め過ぎてしまう状態。
- 温室効果ガスには、二酸化炭素・メタンなどがある。

イ　**A**
- 北極・南極などをおおっていた氷が解け、海水面の上昇や気候変動につながる。
- 生態系が変化し、日本では熱帯性の感染症などが増加する。
- 気候変動により、台風、洪水、干ばつなど自然災害が多発する。
- 砂漠化が進み、海面に近い都市が水没する。

ウ　**国や府、環境団体の取り組み**
- 世界の国々で国際会議により二酸化炭素を減らす取決めをしている。
- 大阪府では「ストップ地球温暖化デー」に取り組んでいる。
- 様々な環境団体が、一人ひとりが地球温暖化について知り、防止に努力するようにうったえている。

エ　**中学生のみんなに伝えたいこと**
- 生活のしかたを見直し、地球にやさしい生活を実行しよう。
- 多くの人が取り組めば効果は大きくなるので協力してほしい。

(1)Aに入る見出しを考えて書きなさい。

(2)スピーチをする時に一枚だけ資料を見せるならあなたはあとの①から③のどの資料を選びますか。記号で書きなさい。また、それはどの場面で使うのか、ア～エから選びなさい。資料を選んだ理由も書きなさい。

選ぶ資料（①～③）

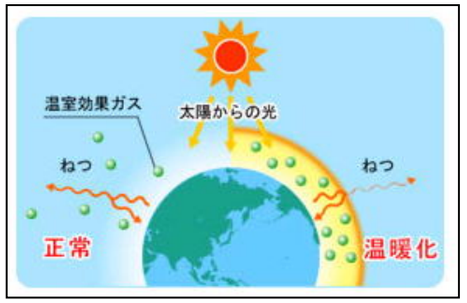
使う場面（ア～エ）

その資料を選んだ理由

(3)（2）で選んだ資料を使って、どのようにスピーチしますか。その内容を百字以上百五十字以内で書きなさい。

①

②



③